

国語	第5学年	安芸高田市立川根小学校	指導者 佐々木 加奈子
単元名	新入生とその家族に川根小を紹介しよう 「分かりやすく伝える」(光村図書5年)		
本単元で育成する資質・能力		主体性	思考力・判断力・表現力
令和元年12月10日(火), 11日(水) 第6校時			第5学年 7名

1 単元について

○ 単元観

本単元は、小学校学習指導要領（平成 29 年告示）の第5学年及び第6学年「B 書くこと」における指導事項（1）オ「文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。」を受けて設定したものである。

本単元のねらいは、「推敲」の過程において、よりよい文章にするために文章全体の書き表し方について、吟味・工夫する力を高めることである。この力を高めるには、目的意識、相手意識をもって、加筆修正しながらよりよい表現に改善していくことが重要になる。よって、本単元では、書き手である児童が、目的や相手を意識しながら自分で文章を読み返し、問題点に気づき、試行錯誤しながら主体的に次の学びにつなげることができる学習を目指す。

本校は6年生の在籍がなく、第5学年が最高学年である。今年度、新入生の面倒をよく見ていた本学級の児童の姿から、次年度、たった一人で入学してくる新入生を想定した題材は児童の意欲を喚起するものと考えた。新入生とその保護者に向けて、川根小学校の学校生活に関わる紹介ブックを作成する活動は、目的や相手を意識した書き表し方を吟味・工夫するためにも有効であると考え、本単元を設定した。

○ 児童観

本校の児童は、書くことを苦手と感じている児童が多く、行事などの作文や日記を書く活動に消極的である。児童がこれまでの学習で書いた文章を見ると、誤字、脱字の他にも、目的や相手を意識した書き表し方がされていない、状況や心情などを読み手に具体的に想像させるような書き表し方がされていないなどの実態が目立つ。また、児童に、自分の文章を読み返す習慣を付け切れていないため、問題点に気付いたり、よりよくしようと吟味・工夫したりすることはできておらず、文章を見直してよりよくしようとする課題意識も低い。

プレテストでは、客観的な表現の吟味・工夫ができた児童は4／7人、文学的・感情的な表現の吟味・工夫ができた児童は4／7人であったが、工夫の意図を説明できている児童は1／7人であった。事前アンケートでは、記述した文章の見直しについて、丁寧に書くことや字の間違いを正すことを意識している児童はいるが、目的や相手を意識して見直すと回答した児童はいなかった。

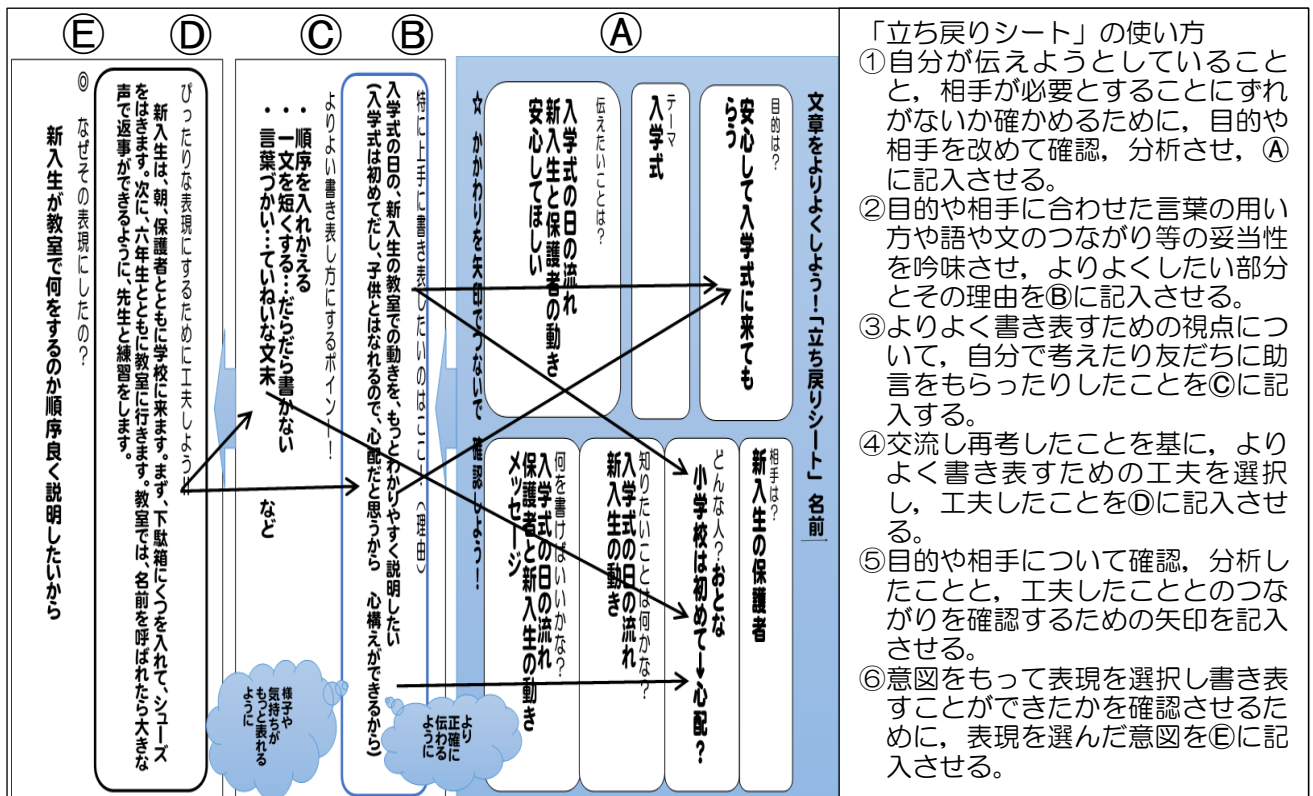
○ 指導にあたって

本単元では、次年度、一人で入学してくる新入生とその保護者に対し「川根小紹介ブック」を作成することをゴールに、単元を構想する。目的や相手を意識して、書き表し方を吟味・工夫する力を高めるために、本単元では次のような手立てを行う。

① 「立ち戻りシート」の活用

児童がこれまでの学習を目的意識、相手意識をよりどころとして立ち戻り、文章全体を吟味・工夫するために、このシートを活用させる。よりよい書き表し方にするために、自分で、あるいは友だちと考えた工夫や、目的・相手と工夫とのつながりを児童自身に記入させ、それをもとに、文章の見直しをさせる。

(立ち戻りシートの例と使い方)



② 語彙を広げる活動の設定

適切な表現をするためには、多様な表現を知ることが不可欠である。そこで、国語の時間以外にも、帯タイムなどで語彙を広げる学習を行い、多様な表現に触れさせることで、児童が文章を吟味・工夫する際に活用できるようにする。端的な表し方の語を言い換える言葉集めや文の書き換え、擬音語・擬態語を使ったクイズ、言葉に関する本の紹介や読み聞かせ等を行うことで、詳しく表したり、ぴったりの表現にしたりするための語彙を示すとともに、児童から出てきた語彙等を掲示し、いつでも振り返ることができるようにする。

③ 交流を取り入れた吟味・工夫

記述したものを互いに読み合い、アイデアを出し合う場を設定することで、自分の文章の参考にさせる。単なるあら探しの活動にしないために、書き手の意図をしっかりと受け止めることを確認する。また、教師の作成した文章を基にして問題点に気付かせ、工夫の視点をもたせる。さらに、ブレインストーミングでよりよく書き表すためのアイデアを出させ、表現を選ぶ際の参考にさせる。

2 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

育成したい資質・能力	目指す児童の姿
① 主体性	◇ 課題意識をもち、解決に向けてより良い方法で学習を進めようとしている。
② 思考力・判断力・表現力	◇ 目的や相手に立ち戻りながら、書き表し方を吟味・工夫している。 ◇ 友達の意図をわかろうとして聴き、それに基づいて書き表し方を吟味・工夫している。

3 単元の目標

- 新入生の家族に「川根小紹介ブック」を作ることに興味をもち、自分の文章を目的や相手を意識してよりよく書き表そうとする。【主体的に学習に取り組む態度】
- ◎ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。【書くこと オ】
- 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して語や語句を使うことができる。【知識・技能 (1) オ】

4 単元の評価規準

主体的に学習に取り組む態度	思考力・判断力・表現力	知識・技能
【言語活動】 ア 「考えたことや伝えたいことを書く言語活動」を通した指導		
・新入生の家族に「川根小紹介ブック」を作ることに興味をもち、自分の文章を目的や相手を意識してよりよく書き表そうとしている。	・目的や相手を意識して、文章全体の構成や書き表し方などに着目し、文や文章を整えている。	・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して語や語句を使っている。

5 指導と評価の計画（全10時間）

時	主な学習活動	評価			
		態	思	知	◇評価規準（評価方法）
1	☆新入生とその家族に「川根小紹介ブック」を贈ろう				
	○ 新入生とその家族に川根小の紹介をするための学習内容、単元のゴールを確認する。 課題の設定	○			◇ 川根小紹介ブック作りに関心をもち、興味を持って取り組もうとしている。 (行動観察・ワークシート)
2	○ 紹介ブックの文章を書くために必要な情報を収集し、整理する。 情報の収集 整理・分析	○			◇ 目的や相手にとって必要な内容を考え、選択しようとしている。 (行動観察・ワークシート)

3	○ 収集した情報を整理し、文章の組み立てを考え、テーマに沿って新入生の保護者に向けた文章を書く。 整理・分析 まとめ・表現			○	◇ 目的・相手に応じて、語感や言葉の使い方を意識して語や語句を選んで使っている。 (行動観察・ワークシート・紹介文)
4 5 本時	○ 教師の作成した例文について、全体で吟味・工夫する。 情報の収集 整理・分析		◎	○	◇ 目的・相手を意識して、文章全体の書き表し方などに着目し、文や文章を整えている。 ○ ◇ 目的・相手に応じて、語感や言葉の使い方を意識して語や語句を選んで使っている。 (行動観察・ワークシート)
6	○ 自分の書いた紹介文を見直すとともに、友だちの文章について助言し合う。 ○ 交流したことを基に、自分の文章を吟味、工夫をする。 情報の収集 整理・分析		◎	○	◇ 目的・相手を意識して、文章全体の書き表し方などに着目し、文や文章を整えている。 ○ ◇ 目的・相手に応じて、語感や言葉の使い方を意識して語や語句を選んで使っている。 (行動観察・ワークシート)
7	○ 新入生の保護者に向けた紹介文を書き直す。 まとめ・表現		◎	○	◇ 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書いている。 ○ ◇ 目的・相手に応じて、語感や言葉の使い方を意識して語や語句を選んで使っている。 (行動観察・ワークシート・紹介文)
8 9	○ 保護者向けの紹介文を1年生に向けた紹介文に書き直す。 整理・分析 まとめ・表現		◎	○	◇ 目的・相手を意識して、文章全体の書き表し方などに着目し、文や文章を整えている。 ○ ◇ 目的・相手に応じて、語感や言葉の使い方を意識して語や語句を選んで使っている。 (行動観察・ワークシート・紹介文)
10	○ 書いた文章を読み合い、感想を伝え合う。 まとめ・表現	○			◇ 友達の書き方の良いところを見付け、意欲的に伝えようとしている。 (行動観察・ワークシート)

6 本時の学習（4／10）

（１）本時の目標

- 目的や相手に立ち戻って、書き表し方の問題点について客観的な表現の側面から吟味し、工夫することができる。

（２）本時の展開

時間 (分)	学習活動	指導上の留意点（○） 予想される児童の反応（・）	◇評価規準 (評価方法)
5	1 前時の学習を振り返る。	○ 前時の学習を振り返らせ、単元のゴールを確認する。	
	2 本時のめあてを確認する。		
	目的や相手に合わせて、分かりやすい文章に書き直そう。		
	3 例文を音読する。	○ 教師の作成した例文を提示する。 ○ 句読点を意識して音読させることで、客観的表現の問題点に着目できるようにする。 ・ 文が長すぎて読みにくい。 ・ ダラダラしている。	
テーマ 「入学式」 川根ゆず子 目的…安心して入学式に来てもらう 相手…新入生の保護者（おとな） 川根小学校の入学式の紹介をします。 教室では、名前を呼ばれたら大きな声で返事ができるように、先生と練習します。新入生は、朝保護者とともに学校に来て学校に來たらげた箱にくつを入れてシューズをはいて六年生と教室に行って先生にあいさつをして着席する。入学式が行われるのは体育館で行われます。他の学年の人は新入生にいろいろ教えてあげてください。 保護者の方は、先に体育館に入場してもらいます。新入生は六年生とともに入場するよ。 わたしは、あゆたろうくんが入学するのがうれしいです。			
20	4 例文の問題点について吟味する。	○ 目的と相手を確認する。 ○ 「立ち戻りシート」の㊤の部分に、相手の置かれている状況から、相手が知りたいことなどを記入させ、目的や相手に応じているかという視点で、例文の問題点について全体で考えさせる。	
	5 伝えたいことを的確に伝えるための工夫について考える。	○ 「的確に伝える」ことに焦点化し、問題を解決するにはどうしたらよいか考えさせる。 ○ 各グループで出てきた問題点とその改善方法を交流させ、出てきた意見を板書で整理する。 ・ 文末を揃えたらいい。	

		・順序が正しくないので、整えればいい。 ・一文が長くてダラダラしているので分かりにくい。一文を短くすればいい。 ・おとなの人に書くので、丁寧な言葉遣いにしたら失礼がなくなる。 ・主語と述語を対応させる。 ・保護者には必要ない内容が書かれているので、必要のない内容はなくせばいい。 ・保護者は自分たちのことを知らないなので、自己紹介を入れたらいい。	
10	6 話合いを踏まえて、自分が書き手としてよりよく書き直したい部分を明確にし、分かりやすい文章に書き直す。	○ 「立ち戻りシート」の㊸㊹に、交流したことを踏まえて、自分が書き手としてよりよくしたい部分と、その理由を記入するよう伝える。 ○ 「立ち戻りシート」に、目的や相手について確認したものと工夫したこととのつながりを、矢印で記入するよう伝える。 ○ 「立ち戻りシート」の㊺に、自分の選んだ部分を工夫して書き直すとともに、「立ち戻りシート」の㊻にその意図を書かせる。 ・順序を整える。 (意図) 相手に動きがよくわかるように順序よく説明したいから。 ・一文を短くする・主述を整える。 (意図) 相手を読みやすくなると思うから。 ・丁寧な言葉遣いにする。 (意図) 相手は自分たちのことをよく知らないおとなの人なので、失礼がないようにして安心してもらいたいから。 ○ 書き終わったら、その文章を入れて文章全体を微音読することを伝え、書き表し方に不具合がないか、確認を促す。	
5	7 交流する。	○ グループや全体で書き直した文章を交流する。	
5	8 振り返りをする。	○ 工夫する視点を振り返らせる。	◇目的や相手に立ち戻って、書き表し方の問題点について考え、工夫とその意図を書いている。 (行動観察、ワークシート)

(3) 板書計画

新入生と家族の人に川根小紹介ブックをおくろう！

めあて 目的や相手に合わせて、分かりやすい文章に書き直そう。

○目的・・・新入生と家族の人に川根小のことをよく知ってもらう
○相手・・・新入生の家族（おとな）

◎どこを直したらいい？ 分かりやすく伝えるために

作文の例

どのように直す？

- ・文末をそろえる
- ・順序を整える
- ・一文を短くする
- ・言葉づかいをていねいにする
- ・主語と述語を整える
- ・必要なことを入れる
- ・ unnecessaryことは書かない

立ち戻りシート

⑤

なぜ？

6 本時の学習（5／10）

（１）本時の目標

- ・ 目的や相手に立ち戻って、書き表し方の問題点について文学的・感情的な表現の側面から吟味し、工夫することができる。

（２）本時の展開

時間 (分)	学習活動	指導上の留意点（○） 予想される児童の反応（・）	◇評価規準 (評価方法)
10	1 前時の学習を振り返る。 2 例文の問題点について吟味する。	○ 前時の学習を振り返らせ、確認する。 ○ 前時に児童から出た工夫の視点を基に、客観的な表現の側面から書き直した例文を提示し、音読させる。	
	私は五年生の川根ゆず子です。私は、川根小学校の入学式を紹介します。 新入生は、保護者とともに学校に来ます。学校に来たら、げた箱でシューズにはきかえて、六年生と教室に行きます。 教室では、名前を呼ばれたら大きな声で返事ができるように、先生と練習して、入学式までの時間を過ごします。 入学式は体育館で行われます。保護者の方は、先に体育館に入場してもらいます。新入生は六年生とともに入場します。 わたしは、あゆたろうくんが入学するのがうれしいです。 目的…安心して入学式に来てもらう 相手…新入生の保護者（おとなの人） テーマ 「入学式」 ② 川根ゆず子		
	3 本時のめあてを確認する。	○ 前時の改善からさらに改善できる問題点がないかを考えさせる。 ○ 児童から違和感のある部分を引き出し、文学的・感情的な表現の側面に焦点化する。 ・前半は整ったけど、最後が「うれしいです。」だけでは気持ちがよく伝わらない。保護者の人が安心できない。	
15	目的や相手に合わせて、もっと気持ちが伝わる文章に書き直そう		
	4 伝えたい気持ちがより相手に伝わるための工夫について考える。	○ 新たな「立ち戻りシート」を使って「目的」「相手」「伝えたいこと」に立ち戻らせ、全体で確認させる。 ○ より気持ちが伝わる書き表し方にするにはどうしたらよいか、グループで考えさせる。 ○ 言葉集めで出てきた語彙を掲示したものや、類義語辞典、言葉に関する本などを参考にしてもいいことを告げる。 ○ グループにホワイトボードを配り、出た意	

10	5 話合いをふまえて、「うれしいです」の部分を書き直す。	見を書くなど、自由に記述させる。 ○ 工夫が見いだしにくい場合は、言い換えやくわしく書いた例を示したり，朝学習で取り組んだ言葉集め，擬音語・擬態語などを思い起こさせたりする。 ○ 各グループで出てきた改善方法を全体で交流させ，出てきた意見を板書で整理する。 ・言葉を言い換える。 ・文章をくわしくする。書き足す。 ・たとえや擬音・擬態語などを入れる。 ○ 出た意見を踏まえて，自分の「立ち戻りシート」の㊸㊹に記入させ，㊸に工夫して書き直すとともに，その意図を㊸に書かせる。 ○ 目的や相手について確認したことと工夫したこととのつながりを「立ち戻りシート」に矢印で記入するよう伝える。 ・「うれしいです。」を別の言葉で言い換える。 (「待ちどおしいです。」 など) ・強調する。 (「とてもうれしいです。」 など) ・文章をくわしくする。書き足す。 (「うれしくて今から楽しみです。」 「いろいろ教えてあげたいです。」 など) ・たとえや擬音・擬態語などを入れる。 (「飛び跳ねたくなるくらい楽しみです。」 「ワクワクしています。」 など) (意図) おうちの人に，うれしい気持ちがしっかりと伝わると，安心してもらえると思うから ○ 書き終わったら，その文章を入れて文章全体を微音読することを伝え，書き表し方に不具合がないか，確認を促す。 ○ グループや全体で，書き直した文章を交流する。 ○ 工夫する視点を振り返らせる。	◇ 目的や相手に立ち戻って，書き表し方の問題点について考え，工夫とその意図を書いている。 (行動観察，ワークシート)
5 5	6 交流する。 7 振り返りをする。		

(3) 板書計画

新入生と家族の人に川根小紹介ブックをおくろう！

めあて 目的や相手に合わせて、もっと気持ちが伝わる文章に書き直そう。

- 目的・・・新入生と家族の人に川根小のことをよく知ってもらおう
- 相手・・・新入生の家族（おとなの人）

◎どこを直したらいい？

作文の例

立ち戻りシート

分かりやすく伝えるために

どのように直す？

- ・ぴったりの言葉に言いかえる
- ・くわしくする
- ・修飾語
- ・音や様子を表す言葉
- ・たとえを入れる

など

ふ

なぜ？